

NO.	項目	平成30年度対計画比を踏まえた分析・考察 (要介護認定者数・要介護認定率のみ令和元年度)	備考
1	要介護認定者数(R元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定者数及び要介護認定率ともに計画値を下回っている。</li> <li>・一般介護予防事業の推進、地域における取組の進展の効果が表れ、認定率の低下につながっていると考えられる。</li> <li>・また、サービス利用適正化により、不適切な認定申請が減少したことも要因であると考えられる。</li> </ul>	総括表
2	要介護認定率(R元年度)		
3	利用者数	施設サービス	総括表詳細(1)
4		居住系サービス	
5		在宅サービス	
6	受給率	施設サービス	総括表詳細(2)
7		居住系サービス	
8		在宅サービス	
9	1人1月あたり利用日数・回数		総括表詳細(3)
10	受給者1人あたり給付費	施設サービス	総括表詳細(4)
11		居住系サービス	
12		在宅サービス	

NO.	項目		平成30年度対計画比を踏まえた分析・考察 (要介護認定者数・要介護認定率のみ令和元年度)	備考
13	給付費	施設サービス	・施設サービスは総量規制しており、ほぼ満床状態で推移しているため、計画値と大きな差は見られない。	総括表詳細(5)
14		居住系サービス	・一人当たりの給付費と比べて、計画値を下回っていることから、計画値より要介護度の高い利用者が増えていることが考えられる。	
15		在宅サービス	・全体的に計画値を下回っているが、認定率の減少によるものだと考えられる。 ・その中でも訪問リハ、通所リハ、短期入所等が高めになっているのは、医療介護連携の推進により、医療から介護への早めの切り替えが行われている可能性がある。	